

SSTを道徳マスタープランに位置付けて

目的

本校の児童は、まじめで明るく、自主性や積極性も徐々に身につけてきています。しかし、少人数でクラスも固定化しているため、自分から進んで新たな人間関係を積極的に築いていこうとする意欲がまだまだ乏しいので、自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを感じ取ったり、話を聞いたりできることを願って、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を「道徳マスタープラン」に位置付けました。

内容

● 生活目標を「道徳マスタープラン」と関連させる

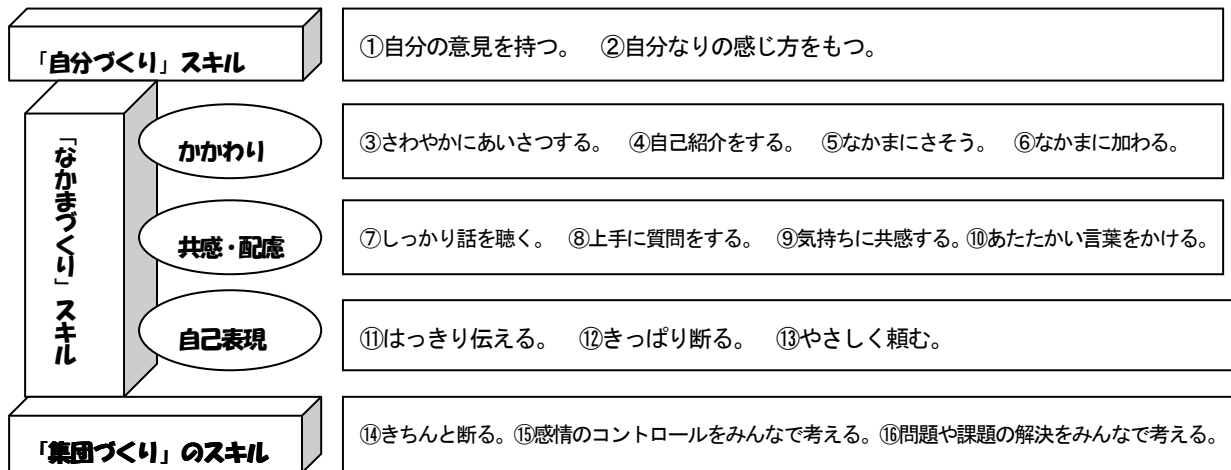
児童の発達段階に即した毎月の「生活目標」を中心に、その期間に培いたい「児童の豊かな心」の素となる道徳的価値を深める道徳の時間を「要」に教科や特別活動等に関連させた「道徳マスタープラン」を策定しています。

生活目標の周知は児童も参加し、毎月、工夫しました。



児童による生活目標の周知

● 自己実現を図るための「塩江SSTプログラム」を「道徳マスタープラン」に位置付ける



「自分づくり」・・・人との基本的な信頼関係の基盤

「なかまづくり」・・・“自分”という認識を持ち、自立した生活の基盤

「集団づくり」・・・他者の痛みや思いを感じるなど、相互理解の基盤

● 全校生によるSSTを朝の活動で計画的に実施する

自他を尊重し、温かく人間味のある人間関係をつくる力を育成するとともに、望ましい生活態度が実践できるようにしました。

5月「きまりを守ろう」
SST「ジャンケン列車」



全校生が仲良くなるために行いました。教員も一緒に先頭のジャンケンの様子を注目しています。とても和やかで楽しんでいます。

11月「相手の気持ちを考えよう」
SST「振り返り」



SST後の感想を話し合っています。「友だちの気持ちを考えて言葉や態度で接しよう。」「勇気をもってことばかけをしていこう」と決意を言うことができました。

1月「自分を生かそう」
SST「記憶力お絵描きゲーム」



グループで話し合いながら一つの絵を完成させていく活動をしました。友だちの話をよく聞いて意見交流をしながら協力しています。一人ひとりが役割をもち活躍することができました。

成果

SSTの充実を図ることで、自分の思いや相手の気持ちを理解し交流できるようになってきました。アンケートからは、学校生活を楽しんでいると感じている子が多くなっています。さらに、学校行事の中で自分の役割をもちその意義について理解させ、自己有用感を高めるようにしたいと思います。